

2人の母を一緒に納骨することは可能でしょうか？



●Answer
沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

Q 父は、結婚を2回していて、私は、先妻の母の子です。幸いにも、後妻の母が、私をわが子同然に育ててくれました。3人とも、すでに亡くなり、三十三回忌も終わっています。親戚の方から「最初の奥さんと次の奥さんと同じ墓に納骨すると、グソーで大ゲンカになるよ」といわれ、後妻の母は、今も一人ぼっちの仮墓です。年内に、墓の修理を行います。恩のある方で、すので、みんな同じように納骨できないでしょうか？

(那覇市・Nさん)

A 今年、ユンチチ(閩月)ですので、みなさんの納骨が可能となる最高のタイミングです。納骨について、詳しくご説明させていただきます。

【死亡順と続柄順】

沖縄の納骨には、死亡順と続柄順の考え方があります。死亡順とは、亡くなられた順番に納骨する方法のことをいいます。ミーポトケ(新仏)という最後に亡くなられた故人さまを、シルヒラシ(汁減らし)というお墓の中の最下段にウンチケー(御案内)して、ウジョーバン(御門番)という門番を依頼する納骨が、この死亡順の代表的なものです。

続柄順とは、家族の続柄の順番に納骨する方法のことをいいます。タチクチ(立口)という初代の男性をお墓の中の最上段にウンチケーして、その方を中心に、妻を左に子を下と、家族構成をイメージして配置する納骨が、この続柄順の代表的なものです。

沖縄の納骨は、一般的に、死亡順から続柄順にフニンシ(遺骨)・カーミー(骨つぼ)をウンチケーする慣習があり、最終的には家系図を表現することになります。

今回のケースでは、三十三回忌も終えられていますので、お墓を修理した後の納骨は、死亡順より続柄順の判断となります。

【夫婦の納骨】

続柄順の夫婦の納骨は、一般的に、夫をグソーヌヒジャイ(後生の左上座)という正面に向かつて右側に、妻をグソーヌニジデイ(後生の右下座)という正面に向かつて左側に、双方を中央で肩並びにウンチケーする考え方があります。夫が2回、結婚している夫婦の納骨は、その応用として、夫を中央に、先妻をグソーヌヒジャイに、後妻をグソーヌジデイにウンチケーする考え方があります。今回は、Nさんのお父さまを中央に納骨され、先妻のお

母さまをお父さまの右側に、後妻のお母さまをお父さまの左側に納骨されてはいかがでしょうか？グソーでの大ゲンカですか？双方のお母さまの中央に、お父さまがおられますので、円満であるご安心ください。

【洗骨は感謝の表れ】

昔、松尾芭蕉の『手に取らば 消えん涙ぞ あつき秋の霜』という俳句を拝見したことがあります。バシヨウが、故郷の伊賀上野に帰省したとき、最期をみとることができなかつた母親の遺髪を手

して詠んだ句であると記憶しています。その遺髪は白髪にて、母親の苦勞に感謝しつつ、涙したとあります。

お墓の修理の後の納骨では、沖縄のしきたりのシンクチをおこなわれるかもしれませんが、お父さま・お母さまたちのチュブルブニ(頭蓋骨)に、手をかざすとき、その苦勞をしのびながら、感謝の気持ちを包まれることでしょうか。Nさん、お父さま、先妻のお母さま、後妻のお母さまへの親孝行のご質問に、かふうの紙面を選んでくださり、ありがとうございます。

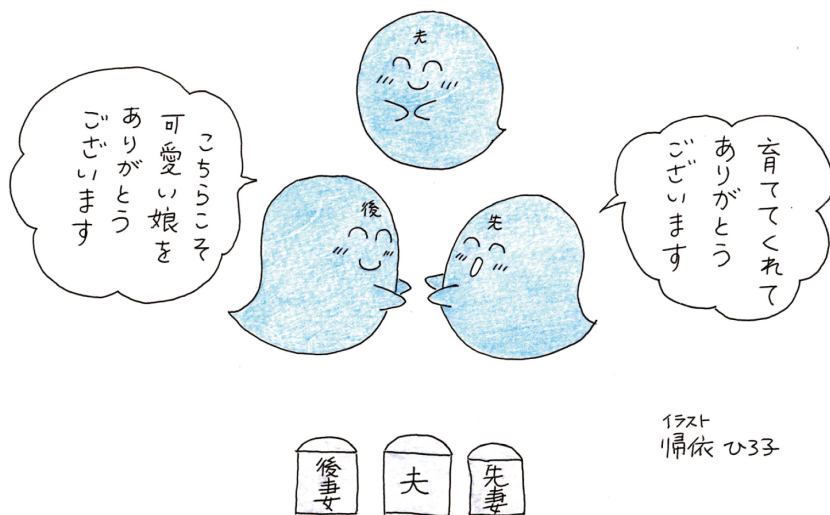


イラスト 帰依 ひこ子